

昨年行われた横浜市大・関東学院合同合宿に引き続き、本年は社会人も含めた国際交流合宿が豪州にて3月15日〜25日の日程で行われました。今回は日付をイースターに合わせて（通常4月にあるイースターが08年は珍しく3月にありました）、鈴木康由六段によるキャンベラでのキャンプに合流する形となりました。

日本からは、鈴木先生を含め11名が参加し、稽古を行ってきました。鈴木先生以外の参加者は、百瀬まりな、佐藤真美（東戸塚）大野義貴、内田有美、深瀬かおり（藤沢）、大川寛之、丸山慎平（八幡宮）、佐々治典子（二俣川）、土田景子（大船）、そして私（山本）です。

16日から20日まではシドニーに滞在し、シドニー市内の他ボンダイビーチ、タロンガ動物園などを見学、また Berin Mackenzie 四段が指導されているシドニー・シティ道場や、Stephen Seymour 五段の指導されるバルメイン道場の稽古に参加しました。ほとんどのメンバーにとって海外での稽古は初の体験でしたが、現地の合気道のレベルの高さや、その熱意に驚いたことと思います。タロンガ動物園ではシティ道場のメンバーの方が勤務されており、我々のために時間を割いて案内をして頂いたり、特別にキリンの餌やりを体験させて頂きました。キリンの長い舌に思い切りなめられたメンバーもいたようです。

21日より車でキャンベラへ移動し、キャンプの稽古となりました。到着後すぐに稽古開始となり、前日までの疲れも重なってなかなか厳しい稽古となりました。現地は夏の終わり頃で、冬場の日本から行った我々には1日4時間以上にもなる稽古は大変でしたが、よい経験になったものと思います。

International Exchange in Australia

Sydney and Canberra 2008.3 Easter



成田エクスプレスの切符の時間が間違っていたり（誰のせい？）、キャンベラから帰ってきた日のホテルの予約が取られていなかったりという波瀾含みの旅となりましたが、参加した方々には日本では体験できない様々な事を見聞きして頂けたのではないかと考えております。今回知り合った方々が日

本にいらした際など、この合宿で広がった交流の輪をさらに繋げ発展させていくことが出来ればと思います。

最後になりましたが、今回も Stephen 先生をはじめとするバルメイン道場の方々、また Berin 先生をはじめとするシティ道場の方々には大変御世話になりました。また、イースターキャンプの幹事である Bruce 先生、Mike 先生、ホームステイを快く引き受けて下さった AKI キャンベラの皆様にも本当に御世話になりました。この場を借りて御礼を述べさせて頂きたいと思います。どうもありがとうございました。

豪州合宿感想

二俣川合気会 佐々治典子

「オーストラリアの合宿に行けば、大きなお肉が食べられるよ」

こんな感じで、お誘いを頂きました。

食べ物に関してはかなりうるさい私ですが（単に好き嫌が多いという説も）、大好物のお肉をたらふく食べさせて頂けるのでしたら是非参加すると、今回の参加を決めました。↑冗談です

初めての海外合宿は、とても体力的にも精神的にもきつかったです。

まず暑さでよばよばのよれよれになり（気合いが足りなかったんでしょか）、英語が全くわからず（英語学習教材を購入しましたが3日坊主でした）、あちらこちらに迷惑をかけまくってました。

オーストラリアの皆様は、とても礼儀正しく、とても熱心にお稽古をされていて、とても体力があり、そしてとても親切でした。